

「ちょっとでもおかしいと思ったら…」

○自分たちだけで何とかしようとした
いで、専門機関に相談してください。
自分の考え方や価値観だけでは、適切な
判断や行動は難しいのです。



我慢したり、悩んだりしているなら、まず電話で相談をしてみてください。匿名でも相談できます。

ちょっと不安でも大丈夫。勇気を出して相談をして、専門家からの話を聞くことで、これから先、あなたやあなたの周りの人を助ける大切な知識を持つことができます。

もし誰かから相談を受けたら、まず否定せずに話をゆっくり聞いてあげてください。被害にあってることを言葉にすることは、とても勇気がいることです。そして、専門の相談窓口があることを教えてあげてください。

<相談先>

- 高知県女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）：(088) 833-0783 月～金9～22時／土日祝9～20時※年末年始を除く
- こうち男女共同参画センター「ソーレ」 女性向け：(088) 873-9655／男性向け（予約制）：(088) 873-9111 ※休憩日を除く
- 相談先に迷ったら、全国共通DV相談ナビ：0570-0-55210（近くの相談窓口をご案内します）



「香農中学校の出前教室のようす
(11月17日)

す」「人権」をクリックして探
べるページから「分類で検索」
に向けた取り組みを市ホームページ
へ。「男女共同参画社会」という
ページにてご覧いただけます。

「自分とは違う価値観や考え方
があってそれを受け入れることが
大切で、相手の立場になって考
えたり正直な気持ちを伝えるこ
とが大事だと吉川先生の話を聞
いて思いました」（生徒アンケー
ト回答より）

香農中学校では、香農市第2回男女共同参画推進計画広報版
リーフレット（※）を使った「男女共同参画推進出前教室」を、今
年度から新たに5年計画で行っています。
本年度は昨年の1月に後免野田小学校、10月に三和小学校、11月に
香農中学校で行い、2021には瀬ヶ池中学校で実施する予定です。
中学校では（公財）高知県人権教育センター理事 吉川葉子さ
んを講師として迎え、「デートDVって何？」をテーマに授業を行
いました。
※「香農市男女共同参画推進計画（平成24年3月～10年計画で策
定）」の広報を目的に、平成25年2月に作成

～「DV」について 考えてみよう～

男女共同参画
シリーズ



ハーモニー♪

「DV」という言葉、あちこちで目や耳にする機会が増えてきました。
いざ、自分の身に降りかかってきた時、身近な人から相談された時、どんなふうに対応すればよいのか、何がDVに当たるのかなど、具体的に考えてみてほしいと思います。

「DVってなに？」

ドメスティック・バイオレンス（domestic violence）の略。「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった人からの体や心への暴力」という意味で使用されることが多く、男女とも被害者になりますが、配偶者からの暴力の被害者は、多くの場合女性です。

「たとえばどんなもの？」

○身体的なもの

殴る・蹴る・髪を引っ張る・
腕をねじる・刃物を突きつける・
物を投げつける など



○性的なもの

見たくないのにポルノ映像やポルノ
雑誌を見せる・中絶を強要する・避妊
に協力しない など

○精神的なもの

大声で怒鳴る・人前でバカにした
り、命令するような口調で物を言
ったりする・無視する など



○経済的・社会的なもの

電話や手紙を細かくチェックしたり、
夫家や友人との付き合いを制限した
りする・外出を妨げる・生活費を渡さ
ない など

●すべてが「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」第1条の「配偶者からの暴力」に該当するとは限りませんが、DV相談の対象になります。

「逃げたらいいのでは？」

加害者の多くが「お前が悪い」という理由で暴力をふるうため、被害者は自分を責めてしまったり、日常的に暴力を受けることで「つらい」という感情が麻痺してしまい、心が疲れ果てていきます。

○恐怖心：逃げたら殺されるかもしれない

○無力感：自分はパートナーから離れることができない、助けてくれる人は誰もいない

○複雑な心理：私のことを愛しているから暴力をふるうのだ、今度こそ変わってくれるのではないか

○経済的問題：収入がなく、逃げても生活できない

○子どもの問題：子どもに暴力をふるうかもしれない、転校させるのはかわいそう、父親（あるいは母親）がいなくなるのはかわいそう

などと考えて、逃げることができないと思ってしまいます。